

## オンライン問題把握力強化講座:「受検者の傾向」を踏まえ事例相談者視点と事例指導者視点の問題を的確に把握する

事例相談者の問題の見立て、気づきを促すために問いかけ、目標設定での提案ができるようになる					受講料：会員価格	受講料：一般価格
日程	2022年9月10日(土)	20:00~21:30	90分	事前にURLと教材をお送りします。	12,000円(税込)	15,000円(税込)
目的	<p>指定試験団体が発表した「受検者の傾向」の読み方とそれを前提とした合格対策方法論をお伝えします。</p> <p>1級面接試験は、まず経験2年目の事例相談者の話を聴いて事例相談者視点の問題を把握した後、事例指導者として事例相談者が気づいていない面接技法上の問題を把握し、本質的解決を目ざすところから始まります。</p> <p>事例指導者として捉えるべき本質的な問題は本人が気づいていないことから、事例相談者の気づきが得られなければ、その解決を目標として提案し、改善しようとしても、抵抗に合うこととなります。気づいてもらうためにはどうすれば良いのでしょうか。</p> <p>教材(逐語録)を使用し、事例相談者視点と事例指導者視点を明確にし、採点をしている試験官に「見える化」するための方法をお伝えします。</p>					
カリキュラム	<p>①事例相談者視点の問題と事例指導者視点の問題にはどのようなものがあるか理解します。</p> <p>②事例相談者視点の問題と事例指導者視点の問題を見立てるポイントを理解します。</p> <p>③見立てたこと(問題把握力したことを)を試験官に伝え、加点を促す方法を理解します。</p> <p>④事例指導者としての見立てと気づいてもらうための働きかけの方法を把握できるようになります。</p>					
	<p>実務経験が2年の事例相談者は、経験不足や勉強不足でキャリアコンサルタントとしての面談の進め方に問題を抱えているという設定です。</p> <p>3つのケースを分析し、それぞれのキャリアコンサルタントの話を傾聴したうえで、面接技法のどこに課題があるかを見立て、相談に来た事例相談者にそれに気づいてもらうために、どのような問いかけをすればよいか、また、試験官が評価してくれるかをお伝えします、その過程で、事例相談者の面接技法上の問題を正しく把握し、早くに対処法を考え「受検者の傾向」で指摘されていることを踏まえ、「評価区分」の記述と自身の面談とを比較し、合格に向けた課題を明確にします。</p> <p>逐語記録は文字での表現ですが、面談の流れを再現していますので、面接試験対策と論述試験に役立てることが可能になります。</p> <p>試験の構造を理解したら、ロールプレイの講座にご参加ください。</p>					

当会でよくある質問を講座で解決します。答えが分かると、学習の方向性が見えてきます。

試験結果は問題展開力が58点でした。足りないあと2点の点数を上げるコツを教えてください。

前回の試験より点数が下がってしまいました。なぜでしょうか？